

第3学年 算数科 「表や棒グラフを使って問題を解決しよう」

<p>主張点</p>	<p>お楽しみ会の遊びを考えるために、統計的探究プロセスを複数回行える単元構成にすることで、学んだ統計的な問題解決の方法を活用すると共に、統計的な問題解決のよさを実感し、今後の学習や生活に生かそうとする意欲を高める。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>みんなでしたい遊びの棒グラフから、子供たちは「苦手な人がいるだろう」「男女の差があるかも知れない」と考えました。前時には、苦手な遊びや男女別の観点から班で調べたいものを選択し、棒グラフを作って個々に考察しました。</p>
<p>〈課題設定以前〉</p> <p>1 既習を整理し、本時の課題をつくる。</p>	<p>前時の学習で分かったことや次に考えたいと思っていたことを振り返りカードを用いて交流し、これまでの学習の流れを示した<u>学びのあしあと</u>と照らし合わせながら、本時の学習課題を設定しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>男子だけのグラフを作ると、男女のしたい遊びと順番が同じだったよ。みんなに教えたいな。</p> </div>  <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>前の時間は、男子のしたい遊びについて調べたよ。今日は、他の班の結果を見てみたいな。</p> </div> </div>
<p>学習課題：他の班の結果を聞いて、みんなが楽しめる遊びを考えよう</p>	
<p>〈課題解決中〉</p> <p>2 班で作ったグラフとしたい遊びのグラフを用いて考察したことを伝え合う</p> <p>3 他の班の考察を聞いて、みんなが楽しめる遊びについて考える。</p>	<p>自分たちが選んだ観点で作ったグラフとしたい遊びのグラフを用いて、見いだした特徴や傾向、考察したことを付箋に書いて交流しました。透明シートを用いることで、グラフを比較しながら、様々な考えがあることに気付きました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>男女のしたい遊びのグラフと男子だけのしたい遊びのグラフを重ねると、女子の人数も分かるね。</p> </div>  <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>逃走中を選んだのは男子が多いと思っていたけれど、9人しかなくて意外だったよ。女子も運動が好きなんだね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%; margin-top: 10px;"> <p>男女のしたい遊びでは2位だったけれど、予想通り女子だけではキックベースが少なかったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%; margin-top: 10px;"> <p>キックベースをしたい女子が少ないのは、ボールを蹴るのが苦手だからかな。</p> </div>
<p>〈課題解決後〉</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>いろいろなグラフから考えると、みんなが遊びについてどう思っているのかが分かりました。まだ、みんなが楽しめる遊びが決まっていないので、次は、まだ比べてないことも比べて考えたいです。</p> <p>「分かったよ・できたよ」と思った理由と、次の時間に取り組みたいことを振り返りカードに書き、本時の学びを確認しました。みんなが楽しめる遊びを決めるために、グラフを比べてもっと話し合いたいという意見が見られました。</p>
<p>考察</p>	<p>まず、結果をまとめた全てのグラフを同時に提示した方が、みんなが楽しめる遊びを考えたいという追求意欲にあった数学的活動が行われたのではないかという意見を頂いた。</p>